

令和4年度介護保険福祉用具・住宅改修評価検討会の 検討結果について（報告）

令和4年度第1回介護保険福祉用具・住宅改修評価検討会の評価検討結果について①

- 令和4年度第1回介護保険福祉用具・住宅改修評価検討会（令和5年3月7日開催）において、以下の7件について評価検討を行った。
 - ・ 開発企業等から提案のあった福祉用具 6件（令和3年11月1日～令和4年10月31日新規受付）
 - ・ 令和2年度第4回、令和3年度第2回検討会において、「評価検討の継続」とされ、追加のエビデンスデータ等が整理された1件
- 評価検討にあたっては、「介護保険制度における福祉用具の範囲の考え方」（7要件）、評価検討の視点に基づき行ったところ。
- その結果、介護保険の福祉用具の対象として、「評価検討の継続」が3件、「否」が4件とされた。

■ 福祉用具 6件（新規）の提案内容 ※「提案（機器）の概要」は提案者の記載をもとに作成。

提案機器	提案（機器）の概要	総合的評価	結果
①排泄予測支援機器	排尿タイミング予測支援デバイスは、超音波を利用して、任意のタイミングで尿のたまり具合の目安が分かる製品であり、スマートフォンアプリと連携することで、膀胱内の尿量を推定し、適切なトイレのタイミングを通知する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、実証計画において想定していた対象者等が限定され、十分な結果が得られなかったことも考えられるが、在宅における住環境や要介護者が利用することによって、どのような自立の促進や介護者の負担軽減が図られたのかがわかる提案である必要がある。 ○ また、現行の購入告示第三項に規定する排泄予測支援機器の種目に追加する場合、「常時装着」ではなく、「単回測定型」である点の特徴を踏まえ、要介護者等の高齢者における効果を示す必要がある。 ○ 上記の点に加え、自立の支援や安全に利用される対策を示すことや、提案されている効果について、「常時装着型」と同程度の定量的なデータを引き続き蓄積する必要がある。 	評価検討の継続
②口腔嚥下機能訓練器具	大人用哺乳瓶の形状を有し、中に飲料を入れ吸い口のシリコンゴムより内容物を飲む。舌を絶え間なく前後に動かすことにより、飲めるようになっており舌圧の向上をはかり嚥下力を高める。様式E84医療機器製造販売。一般名称口腔嚥下機能訓練器具。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅の生活で本製品を必要とする利用対象者の特定や、在宅の要介護者等が使用する具体的な環境を想定し、要介護者が利用することによって自立の促進や介護者の負担軽減を図られる福祉用具であることを示す提案になっていない。 ○ 本機器の使用に際しては、有効な活用および安全な利用の観点から、医師等の医療専門職による管理下においてなされるべきものかどうかの整理が必要である。 ○ 上記の点について、在宅での使用例に基づき自立の支援や安全に利用される対策を示すことや、根拠となる要介護者等への効果について、定量的なデータを用いた検証結果が得られる必要がある。 	否

令和4年度第1回介護保険福祉用具・住宅改修評価検討会の評価検討結果について②

提案機器	提案（機器）の概要	総合的評価	結果
③身体洗 浄器	少子高齢化で老人が増えて、家庭内での老々介護が増えている。要介護3以上の方の在宅介護で入浴させるのは困難で、デイサービスで入浴する方が多い。被介護者がベッドに寝たままで手軽に身体洗浄をするミスト装置。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 根拠となる要介護者等の利用効果に関するエビデンスが示されておらず、在宅での使用例に基づき自立の支援や安全な利用について示す必要がある。 ○ 一般製品との差別化も困難であり、介護保険の福祉用具になじまない。 	否
④洗髪器	超微粒子で洗い流す・シャンプー液なしで汚れを落とす洗髪器。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 根拠となる要介護者等の利用効果に関するエビデンスが示されておらず、在宅での使用例に基づき自立の支援や安全な利用について示す必要がある。 ○ 一般製品との差別化も困難であり、介護保険の福祉用具になじまない。 	否
⑤装着型 介助支援 機器（※ 介護専 用）	在宅介護にて被介護者が自力での立ち上がりなどができない場合や寝ている際、介護者が装着することにより、介護者の動作や姿勢を安定させ、負担を軽減させる機器。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の提案では、介護施設の介護者における有用性を示した事例があるものの、在宅で装着する介護者の負担軽減、利用のしやすさについてのデータも必要である。 ○ また、在宅における利用環境を想定し、被介護者像を定め、要介護者の効果についても適切なアウトカム指標を設定し、統計学的な検討を行う必要がある。 ○ 上記の点に加え、介護保険の対象者の自立の支援や安全に利用される対策を示すことや、提案されている効果について、引き続き定量的なデータを蓄積し、有効性を示す必要がある。 	評価検討 の継続
⑥電子錠	玄関などのオートロック化によるセキュリティの向上とリモコンによる解錠のスムーズ化の促進のための電子錠。玄関の解錠をBluetooth接続のリモコンで、離れたところから鍵をスムーズに解錠できる製品。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 根拠となる要介護者等の利用効果に関するエビデンスが示されておらず、在宅での使用例に基づき自立の支援や安全な利用について示す必要がある。 ○ 一般製品との差別化も困難であり、介護保険の福祉用具になじまない。 	否

令和4年度第1回介護保険福祉用具・住宅改修評価検討会の評価検討結果について③

■ 福祉用具 1件（継続）の提案内容 ※「提案（機器）の概要」は提案者の記載をもとに作成。

提案機器	提案（機器）の概要	総合的評価	結果
①入浴用補助椅子A	入浴用椅子に付属する複数のノズルから温水シャワーを噴出し、浴槽に入ることなく温浴を可能とする用具。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の追加データは、在宅利用者を対象とし、実証計画に基づき、「客観的測定法」として、指標や質問紙等を用いて得られたデータであり、症例によって居宅における入浴支援に資するものであるという可能性が示された。しかし、今回のモニター調査の対象者にばらつきがあり、対象者数も限定されており、利用対象者像に対して軽減された具体的な介助行為の内容やその程度の分析については不十分であった。 ○ さらに、対象者像や介助方法の内容及び機器の使用方法を明確にし、機器の使用前後に取得した数値等の関係性について明らかにすること。 	評価検討の継続

(参考) 介護保険福祉用具・住宅改修評価検討会について

【目的】

利用者や保険者等の意見・要望を踏まえ、新たな種目・種類の取り入れや、拡充等の検討のため、介護保険福祉用具・住宅改修評価検討会を開催。

【検討事項】

- ・介護保険の給付対象となる福祉用具・住宅改修の新たな種目・種類の追加や拡充についての妥当性や内容に関する事。
- ・その他、介護保険の福祉用具・住宅改修に関する事。

【評価・検討の流れ】

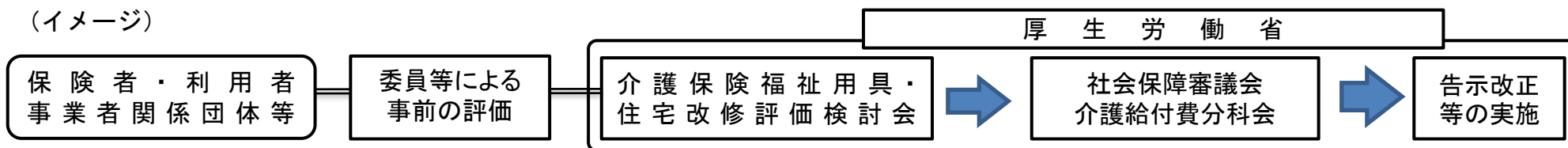
■新規提案の場合

通年	厚生労働省HPより提案票の受付。(11月以降に受付けた提案は、次年度の検討会で評価・検討)
11月～1月	提案資料の確認。評価検討に必要な情報が不十分な場合、委員の助言を踏まえ、追加データを提案者に依頼。
2月～3月	評価検討会を開催し、提出された要望について種目・種類の追加や拡充の妥当性や内容を評価・検討。

■「評価検討の継続」と判断された提案の場合

通年	必要なエビデンス等が整理され次第、随時評価検討を実施。(改めての提案票の提出は不要)
----	--

(イメージ)



介護保険福祉用具・住宅改修評価検討会 構成員 (順不同・敬称略)

令和4年6月時点

氏名	所属・役職	氏名	所属・役職
石田 光広	稲城市 副市長	大河内 二郎	介護老人保健施設竜間之郷 施設長
井上 剛伸	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 部長	久留 善武	一般社団法人シルバーサービス振興会 事務局長
井上 由起子	日本社会事業大学専門職大学院 教授	五島 清国	公益財団法人テクノエイド協会 企画部長
岩元 文雄	一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会 理事長	濱田 和則	一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長
上野 文規	介護総合研究所 元気の素 代表	松本 吉央	産業技術総合研究所 人間拡張研究センター
大串 幹	兵庫県立リハビリテーション中央病院 院長補佐 診療部長	渡邊 慎一	一般社団法人日本作業療法士協会 生活環境支援推進室 副室長 横浜市総合リハビリテーションセンター 副センター長

(参考) 介護保険福祉用具における評価・検討の視点

①

評価検討項目	評価検討(有効性・安全性)の視点	検討のための資料
①要介護者等の自立の促進又は介助者の負担の軽減を図るもの	<input type="checkbox"/> 利用対象者が明確である <input type="checkbox"/> 主たる使用場面が示されている <input type="checkbox"/> 日常生活の自立に資する効果が示されている (動作が容易になる、活動・社会参加の促進、介護予防に資する等含む) <input type="checkbox"/> 日常生活上の便宜及び機能訓練や介助者の負担の軽減の効果が示されている ※機能訓練の効果については、心身機能に関する効果のみでなく、活動や参加に資するものを示していること <input type="checkbox"/> 実証(エビデンス)データを示している <input type="checkbox"/> 対象(具体的な症例を含む) <input type="checkbox"/> 方法 <input type="checkbox"/> 指標 <input type="checkbox"/> 結果 <input type="checkbox"/> 結果に基づいた提案(性能との関係が明確である)となっている	<input type="checkbox"/> 提案票 <input type="checkbox"/> 第三者等による検証結果 <input type="checkbox"/> 論文 <input type="checkbox"/> その他
(①の再掲) 利用の安全性 ※情報セキュリティー(別途)	<input type="checkbox"/> 利用が危険と考えられる心身の状況が示されている <input type="checkbox"/> 使用上のリスクが示され、対応している <input type="checkbox"/> 安全に使用するための注意事項が示されている (想定されるリスクに対する注意や警告を含む) <input type="checkbox"/> 危険が生じると考えられる、仮説に対する対応策が示されている <input type="checkbox"/> 洗浄方法が明確に示されている <input type="checkbox"/> 消毒方法が明確に示されている <input type="checkbox"/> 保守(メンテナンス)方法が記載されている	<input type="checkbox"/> 提案票 <input type="checkbox"/> 取り扱い説明書 <input type="checkbox"/> 利用安全マニュアル <input type="checkbox"/> その他
②要介護者等でない者も使用する一般の生活用品でなく、介護のために新たな価値付けを有するもの	<input type="checkbox"/> 一般の生活用品ではない <input type="checkbox"/> 介護のための新たな付加価値を付与したもの <input type="checkbox"/> 無関係な機能が付加されていない	<input type="checkbox"/> 提案票 <input type="checkbox"/> カタログ

保険適用の合理性
<input type="checkbox"/> 一般国民との公平性や経済性、有効性、保険給付への影響等の観点から総合的に勘案
【総合的勘案の視点】 <input type="checkbox"/> 要支援・要介護者の日常生活における機能として欠かせない <input type="checkbox"/> 要支援・要介護者の日常生活を支える不可欠な機能とは無関係の機能を伴わない <input type="checkbox"/> 介護保険以外の他のサービスや製品等の代替が原則困難である <input type="checkbox"/> 一般的に低価格なものではない

(参考) 介護保険福祉用具における評価・検討の視点

②

評価検討項目	評価検討(有効性・安全性)の視点	検討のための資料
③治療用等医療の観点から使用するものではなく、日常生活の場面で使用するもの	<input type="checkbox"/> 医療機器ではない <input type="checkbox"/> 日常生活の場面で使用するもので特別な訓練を経ずとも安全に使用が可能である	<input type="checkbox"/> 提案票
④在宅で使用するもの	<input type="checkbox"/> 在宅での利用を想定しているもの	<input type="checkbox"/> 提案票
⑤起居や移動等の基本動作の支援を目的とするものであり、身体の一部の欠損又は低下した特定の機能を補完することを主たる目的とするものではないもの	<input type="checkbox"/> 要介護者・要支援者の日常生活動作の支援を目的としている <input type="checkbox"/> 身体機能そのものを代行・補填するものではない <input type="checkbox"/> 補装具との区別が明確である ※低下した特定の機能を補完することを主目的としない	<input type="checkbox"/> 提案票
⑥ある程度の経済的負担があり、給付対象となることにより利用促進が図られるもの	<input type="checkbox"/> 給付対象となることにより、市場への供給が高まり、利用が促進されるもの(経済的負担を伴う)	<input type="checkbox"/> 提案票
⑦取り付けに住宅改修工事を伴わず、賃貸住宅の居住者でも一般的に利用に支障のないもの	<input type="checkbox"/> 取り付けに住宅改修工事を伴わない <input type="checkbox"/> 持ち家と賃貸住宅に差がない	<input type="checkbox"/> カタログ <input type="checkbox"/> 取り扱い説明書



保険適用の合理性
【総合的勘案の視点】(続き) <input type="checkbox"/> 複合機能を有する <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>本来の機能と一体不可分(補完的役割) <input type="checkbox"/>複合機能が日常生活における機能として欠かせない <input type="checkbox"/>通信機能の搭載 <ul style="list-style-type: none"> ※メンテナンスに関する連携を確認 <input type="checkbox"/> その他